

令和5年度 学校経営方針

和泉市立鶴山台南小学校
校長 山本 幸治

Aはじめに（学校経営方針の基本的考え）

学校教育のなかでは、不易と流行という言葉がよく用いられる。不易流行の学校経営とは、継続性（残し伝えるべきところはきちんと残す）と変革性（変えるべきところは勇気をもって変える）を有することである。社会の大きな変化に伴って教育も大きな変化の時を迎えている。学校もその変化に対してスピード感を持って対応していく場面（流行）と新古を超越したいかに時代が変化しようとも変わらない教育の本質（不易）を大切にして、指導の成果を検証し、課題発見・改善計画立案と実行のサイクルを構築していかなければならない。

そのために、教職員は自らの力量を高めることでより質の高い教職員集団となることをめざし、ともに学び・支え・高め合う児童を育て、保護者・地域との連携をさらに深め、説明責任を果たすことが必要と考える。そこで以下のような学校づくりをめざす。

B学校教育目標とめざす子ども像

和泉市教育大綱の基本理念に則り、信太中学校区の4校で共有するめざす子ども像を踏まえ、学校教育目標の実現に向けて取り組むことを基本とする。

信太中学校区めざす子ども像

ともに伸びようとする子 ～みとめる・つながる・高めあう～

令和5年度 校区の目標

「自己有用感を高める」「主体性を育てる」



本校学校教育目標 生き生きと輝く子を育てる

めざす子ども像

- ・心豊かで、思いやりのある子ども
- ・学ぶ喜びを知る子ども
- ・明るく元気な子ども

① 「生き生きと」過ごすために

→ 健康・安全教育、生活指導の充実、楽しい学校をつくることで一人ひとりの生命と人権を何よりも大切にする環境をつくる。その環境の中で

- ### ② 「輝く子を育てる」ために
1. 豊かな心（徳育）
 2. 確かな学力（知育）
 3. 健やかな体（体育）

この三育の調和のとれた教育課程を編成する。

そのことにより、自己実現を図り、めざす子ども像を実現する。

☐学校経営方針の重点

日頃の生活指導において「鶴南スタンダード」として、「鶴南4つの当たり前」として教職員が率先して子どもたちを指導する。

「鶴南スタンダード」（鶴南4つの当たり前）

- ・あいさつをしっかりとる
- ・当番活動をしっかりとる
- ・正しい姿勢(聞く・読む・話す)を大切にする
- ・廊下を走らない

鶴南スタンダードを踏まえ、子どもたちの自己有用感を高め、主体性を育てることを日々の指導の中で実践していく。その中で、以下の(1)・(2)を重点項目ととらえ、教育活動を推進する。

(1)「集団(仲間)」づくりの推進

すべての児童が安心して学校生活を過ごすことができるよう「安心して学べる学校」づくりに取り組む。そのために、「集団(仲間)」づくりを教育活動の根幹に据える。「集団(仲間)」づくりのために、全教育活動において「人権教育・道徳教育」を推進する。

(2)「わかる授業」づくり

生徒指導で最も効果が表れるのは、授業の充実である。充実した授業であるために日々の授業改善を行い、「わかる授業」で子どもの自己実現の場と自己有用感・主体性を高めていく。あわせて、新学習指導要領への移行期であることから、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいく。

☐行動の指針

☐A~☐Cを基本的な方針として、それをもとに各分掌等で、成果と課題を明らかにしたうえで具体的方策の立案を行う。その目標化への指針は以下のとおりとする。

1. 豊かな心の育成(徳育)

(1) 道徳教育の充実

- ・年間指導計画に則った、着実な履修を行う
- ・全教育活動、日常生活の中で体験的な活動を通して道徳性を養う。

(2) 人権教育の充実

- ①いじめ・差別・偏見を許さない温かい学級・学校経営の推進
- ②あらゆる教育活動を通じて人権教育を推進
- ③同和問題、男女平等、障がい者、在日外国人等の様々な人権問題に対して、校内推進体制を強化

(3) 特別活動の充実

- ①あいさつ運動の継続
- ②児童会の自主的・自立的な活動を充実
- ③ボランティア活動を推進する。(清掃・募金・回収・訪問等)
「気づき、考え、実行する」

(4) 豊かな体験活動、文化・芸術との出会いの提供

- ①校外学習等の工夫(自然体験・社会体験)
- ②保護者、地域、関係機関等との連携協力

(5) 読書活動の推進

- ①読書の楽しさとの出会いを提供(朝の読書、学校図書館の有効活用)
- ②感動する図書を選定

2. 確かな学力の育成（知育）

（1）基礎学力の定着

- ①学習の基本となる「聞く・話す・書く」指導の充実
 - ・「読み・書き・計算」の知識技能の定着
 - ・各教科等での基礎基本的事項の徹底指導（学習指導ツール、反復学習メソッドの活用）
- ②「習熟度別指導」など、個に応じた指導方法・体制の工夫・改善
- ③授業時間の確保
- ④家庭学習習慣の定着に向けた取組（学習指導ツールの活用）

（2）魅力的な、楽しい、分かる授業の創造

- ①教材研究による教材・教具の工夫
- ②学び合い、支え合い、高め合う授業
 - 意見を述べ合い、知恵を出し合い、新たな発見がある授業
 - 主体的・対話的で深い学びの実現
 - 「育成をめざす資質・能力の三つの柱」
 - I 学びに向かう力・人間性等の涵養
 - II 知識・技能の習得
 - III 思考力・判断力・表現力等の育成
- ⇒「生きる力」
- ③指導と評価が一体化された指導計画と授業構築
- ④研究授業・研究討議の充実（校内および中学校区）

（3）言語活動の充実（思考力・判断力・表現力の育成）

- ①国語の授業の充実と日常の言語環境の整備
- ②語彙を豊かにする活動。→対話やスピーチ、プレゼンなどの言語活動の場の計画的設置
- ③朝読書・学校図書館の充実
- ④外国語教育実施のためのALTや中学校区での協力推進
- ⑤「プログラミング的思考」を育むためのプログラミング教育の導入

（4）支援教育の充実

- ①全教職員の障がいについての正しい理解と協力した指導のための研修と支援教育の視点に立った指導の実践
- ②支援を要する児童の把握と保護者との共通理解の促進
- ③支援コーディネーターを中心とした校内支援委員会の活性化および一人ひとりのニーズに応じた組織的な対応
- ④「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」の学校・保護者共通理解による作成と内容充実

（5）指導時間の確保

- ①週時程や時間割の工夫
- ②時数調査を有効利用

（6）総合的な学習の時間の充実

- ①ねらい、内容（平和、福祉、環境、情報、国際理解等）を明確化した系統性の構築
- ②各教科等の内容を関係づけた指導
- ③キャリア教育の推進→将来の職業について意識させ、目的意識をもって学習に取り組ませる

3. 健やかな体の育成（体育）

（1）体育、保健学習の工夫・改善

- ①学年別年間カリキュラムを作成・実施・検証
- ②新体力テストの実施と結果の活用
- ③自他の生命の尊重や、生涯を通じての健康・安全管理の基礎作り
- ④季節に応じた継続的な体力づくり（マラソン、縄跳び等）
- ⑤各自の目標設定とそれに向けた取組（運動会、マラソン等）

（2）遊びの奨励

- ①外遊びの奨励
- ②計画的な縦割り活動の実施

③学級や学年での集団遊びの工夫（スポーツ大会、ゲーム大会等）

(3) 食育の推進

- ①家庭や地域と連携した望ましい食習慣等の確立
- ②食育を踏まえた給食指導（正しい知識、感謝の心、楽しい給食）

(4) 行政と連携した子どもの健康作り・管理

- ①食育関係
- ②生涯スポーツとの連携協力

(5) 健康・安全教育、生活指導の充実

- ①早寝早起き朝ご飯等、基本的な生活習慣を確立させる。
（実態把握と家庭との協力体制と幼小中との機関連携）
- ②校内生活、校外生活、交通安全、災害安全、その他での安全指導・安全点検の充実と事故等の未然防止
- ③危機管理マニュアルの整備
- ④目的に即した効果的な避難訓練の実施
- ⑤ケース会議の活用と組織的な対応
- ⑥チーム対応による生徒指導の実践（チーム学校）
チーム対応を推進するための「さしすせそ」と「ほうれんそう」

さ…最悪を考えて	ほう…報告
し…慎重に、かつ	れん…連絡
す…素早く	そう…相談
せ…誠意を持って	
そ…組織的対応を	

4. 同僚性が高く、環境が整備された職場づくり

(1) 同僚性の高い職場

- ①学校経営方針のもと、各分掌における教職員一人ひとりの学校経営参加意識の醸成と各自がリーダーシップを発揮できる職場作り
- ②教職員相互の支え合いと高め合いのある職場作り
- ③研修等を受講した教職員による校内伝達研修の活性化

(2) 環境の整備された職場

- ①人的環境の整備…児童にとって最大の人的環境は教職員との見地に立った人権感覚（服装、言葉遣い、時間等）
- ②物的環境の整備…長期的展望に立った予算の執行による環境整備や教材教具の整備

5. 信頼される学校の創造

(1) 開かれた学校づくり（学校・家庭・地域との連携）

- ①保護者・地域・教育ボランティア等の学校教育活動への参加促進
- ②PTAや地域行事に積極的参加と交流
- ③教育活動について内部評価（教職員）外部評価（保護者）を実施と結果の公表による学校改善
- ④学校協議員等を活用した開かれた学校づくりと学校運営体制の充実
- ⑤学校便り等による情報の積極的発信と説明責任を遂行

(2) 小中一貫教育の推進

- ①中学校区における9年間の接続・連携に留意した小中取組みの方向性共有
- ②魅力ある学校づくり調査研究事業を引き継ぐ、生きる力を育成する「魅力ある学校づくり」の取組み